

Raymond Academy

レイモンド学園だより No30

2011年1月1日



新年あけまして、おめでとうございます。レイモンド学園をいつも覚えてくださり、篤い祈りと大きな関心を持ってお支えくださり、心から感謝いたします。

昨年9月から12月の時期ほど、時間の経過を早く感じた事は、今までの学園生活の中でありませんでした。

新しい外国人の先生お二人をお迎えできた事は大きな祝福でした。9月第1週目から学園祭(11/20)に向けての準備が始まりました。10月にはみことば書道コンクールへの出展、また第2回目のACEセミナーが開催されました。今回は山形、新潟、栃木、埼玉、東京、神奈川、兵庫、奈良、福岡と、全国各地から合計60名の方が参加され、これからのACEミニストーリーの重要性を思わされました。北海道・旭川でも同じセミナーが開かれました。当校見学にも多くの方がおいでになりました。入学希望というよりむしろ、ACE教育に関心のある方が、全国各地からインターネットを通してアクセスされました。

生徒たちのコワイヤチャイム演奏も3カ所で発表させていただき、大変感謝でした。特に初めてのこととして、学園付近のデイケアセンターにおいて、地域小学校のはまっこの皆さんとコラボで演奏奉仕ができました。はまっこの責任者の方から、はまっこにも演奏奉仕にきてほしいと依頼を受けました。

これらの行事に加えてもっとも大事な事として、生徒の毎日の生活、学び、霊的なサポートをさせていただきました。12月1週目にすべてのご家族と面談をし、一人一人の生徒の信仰面、人格的関わり、また進路について多くの時間を費やして祈り話し合いました。これらはACE教育であるからこそ深く関わることだと思っています。そして、スタッフ一人一人がただ主への献身の故に、真心込めて奉仕して下さった事は、学校として何より大きな祝福でした。

迎えました新しい年、委ねられてきたものを守りつつ、揺るがされることなく、強く立って歩み続けたいと願っています。今年もどうぞよろしく願いいたします。

レイモンド学園 伊東美穂

【報告】

8月30日(月)始業式/Dim 先生就任

4年間東京基督教大学において学んでおられたインド人のマンナイディム・ナイト先生が、東戸塚キリスト教会にお住まいになりながら、教師として奉仕して下さっています。新しい体制で、新学期をスタートしました。

9月17日(金)フィールドトリップ 太平洋放送協会見学

伊東献仁先生の弟、伊東純仁さんがラジオ部に努めていることから、今回見学させていただくことになりました。ラジオ番組の仕組み、テレビ番組の収録、編集の様子を見学しました。クリスチャンの働きをまた新たに学び、生徒たちは目を輝かせながら説明を聞いていました。



10月15日(金)オーナーロールトリップ・芋掘り遠足

オーナーロールの生徒は、横浜の映画館で映画鑑賞とシェーキーズ・ピザ食べ放題を楽しみました。

プレの生徒と小学1, 2年生は舞岡の芋掘りに出かけました。その後舞岡公園でピクニックしながらお弁当を食べ、思い切り走り回って遊びました。

10月22日(金)Gloria 先生来日・就任

メキシコよりグロリア・ダニエラ・リベラ・マスカレーニャス先生が来日され、ディム先生同様に学校で教えてくださることになりました。感謝します。グロリア先生はメキシコ・ソノラ出身ですが、高校2年間を阿部先生宅で寮生活をしながら、グアダラハラ校を卒業されました。その後アメリカの大学に進まれ、卒業後日本に来られました。

10月23日(土)ディケアセンターにてチャイム演奏

地域小学校のはまっこに関わっておられるご父兄のお声かけにより、ディケアセンター・グリーンワープのお誕生会にお招きをいただきました。15人の生徒と教師達で参加させていただき、地域に主の証をさせていただきました。低学年のチームと高学年のチームに別れ、2曲演奏しました。



10月26日(火)阿部和子先生来校

日本におけるACE教育サポートのために来日された阿部先生が、レイモンド学園のために来校してくださいました。生徒の様子を見て下さり、学校が相応しく運営されているか確認してください、夕方には教師達のために教師会を開いてくださいました。研鑽の時となりました。



10月27日(水)ACE Educators Seminar

飛躍とグレードアップというテーマで、1日のセミナーが開かれました。これはACE教育に携わる父兄と教師のためのものです。このセミナーに励まされて奈良県と兵庫県芦屋市に新たなACEスクールが始まる予定です。また恵みによって、来年5月開催のInternational Student Conventionにレイモンド学園に加えて博多の学校からも参加することになりました。レイモンド学園のご父兄も高い意識を持って参加してくださいました。

11月20日(土)第3回レイモンド学園祭

2ヶ月半の準備を経て、第3回学園祭「Witness」(マタイ24:14)『この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民に証しされ…』が開催されました。目標は主の証人として学園祭で奉仕すること、また、ACEスクールとして、ACEを紹介、証しすることでした。総数115名の参加でした。お祈りとご協力をありがとうございます。生徒たちは準備の間、各部門に属し、担当する仕事をこなしました。4つに分かれた部門には、リーダーがいて(4名の学園祭委員)そして副リーダーがたてられました。当日には部門のほかにチームに分かれて、シフト制でいろいろな場所で働きました。話し合いを重ね、今年は特に生徒主体の、生徒の意見が反映された学園祭でした。



12月2日(木)東戸塚キリスト教会・婦人会クリスマス会にて コワイヤチャイムの演奏と合唱

9月から12月の間は、音楽のクラスでコワイヤチャイムを練習しています。毎年恒例のように、婦人会のクリスマス会で演奏させていただけることを感謝します。今年は生徒のお祖母さまで会に参加されていた方も多く、生徒にとって励みになりました。

12月10日(金)西平先生による内科健診

今年もご厚意により、西平先生に内科健診をしていただきました。長年小児科の病気を研究しながら、子供に関わってこられた愛情深い先生が、昨年の記録を確認しながら、生徒の成長を見てくださることは、大変ありがたいことです。

12月15日(水)終業式・クリスマス会

今年度3学期の学習成果を評価、賞賛するとき、また、プレスクール、音楽部門の沢山の発表を楽しむときとして毎年楽しみな終業式です。日頃お世話になっている教会の方、非常勤スタッフの方、そしてご家族の方と過ごすクリスマス会も幸いなときとなりました。

【今月のテーマ】

9月 Content(満足する)：神様は、私が周りの状況に順応するために必要とするすべてを与えてくださっていると理解し受け入れること。

みことば：「しかし、満ち足りる心を伴う敬虔こそ、大きな利益を受ける道です。」

I テモテ 6 : 6

10月 Cooperative(協力する)：他の人と一緒に力を合わせて働いたり、共に暮らす事。

みことば：「あなたがたも祈りによって、私たちを助けて協力してください。それは、多くの人々の祈りにより私たちに与えられた恵みについて、多くの人々が感謝をささげるようになるためです。」

II コリント 1 : 11

11月 Courageous(勇敢である)：神は私にどんな試練や危険でも耐えることができる、心の強さと堅固さを与えることによって、私と共におられることを実証される。

みことば：「強くあれ、雄々しくあれ。彼らを恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主ご自身があなたとともに進まれるからだ。主はあなたを見放さず、あなたを捨てない。」

申命記 31 : 6

12月 Creative(創造的)：違った見方をもってあらゆることに応じていく。

みことば：「この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心の一新によって自分を変えなさい。」

ローマ 12 : 2

【生徒の提出したレポートより掲載】

「協力する」中学生

僕は、協力するというテーマを初めて見たとき、「自分は協力し合っているのか。」と自分自身に問いかけました。

献仁先生は、協力するということに関してみことばを用いて語ってくださいました。『ひもは1本だとすぐに切れてしまうが、3本になると強くなって切れにくくなる。(伝道者の書4章9節から12節)炭は1本だと火が弱いしすぐに消えてしまうが、2、3本集まると火は消えずだんだん強くなっていく。(へブル人への手紙10章23節から25節)』これらの話を聞いていて僕が思った事は、自分は妹とは協力し合っているとは言えないし、母や知人とでさえ、なかなか協力し合うことが難しいということです。

聖書の中で協力し合った人たちは、イエス様が天国に戻られた後の12弟子だと思えます。弟子たちはイエス様が十字架にかかられた後に、イエス様がこの世に来られた目的が分かりました。そしてその後協力してイエス様のことを伝えました。もし彼らが協力しないで、伝道していなかったら今頃は聖書も存在していなかったでしょう。

人間は一人だと弱いですが、二人になると力強くなります。しかし二人だと意見が分かれ争いも生じてしまうので、3人目の人が仲裁のために必要になります。この3人目の人のおかげで仲直りもできます。この3人目の人は神様です。神様をお迎えした人間関係は力強くなります。

協力するということは生活の中でもっとも大事なことのひとつだと思います。協力するということと、信頼関係を築くということとは深く関連していると思います。協力は絆を深めると思います。近所の人や、教会の人、また家族と協力し合って、絆を深めて行きたいと思います。

「学園祭について」

司会を務めたのは初めてでした。最初はやりたくないと思いました。しかし、やってみて楽しかったです。私はこの学園祭を通して、友達と協力することを学びました。それは、看板作り等は、一人でやろうとしてもできないからです。そして苦手なことを余り緊張しないでできたことがとても感謝でした。

僕が反省しなければならないことは、自分の仕事をしなければならないときに、勘違いをして、他の人に代わりをやってもらった事です。この学園祭で僕が神様に感謝したいことは、生徒全員が学園祭をする場所に集まり、発表や奉仕ができ、お客様に楽しんでもらえたことです。そして一緒にできる友達がいることです。僕はこのレイモンド学園に通えて本当に感謝しています。

今年の学園祭を通して学んだことは、何事にも急がなければならない時以外は、焦らずに、正しい判断をし、正しく行動するということです。来年の学園祭にも元気に参加したいです。

今年の学園祭で良かったことは、プレスクーラーの踊りが可愛かった事と、お客さんたちに喜んでいただけたことと、練習で怠けたら後が大変になることを学べたことと、神様を証しできたことです。来年は勇気を出して「委員になりたい人？」といわれたときには手を挙げたいです。

僕は学園祭の委員に手を挙げてなりました。みんなと一緒にすばらしい学園祭にしたかったからです。難しかったのは、皆の意見が合わなかったことです。そんなときには委員長が意見をまとめてくれました。僕は話を聞くだけになってしまいますが、いつか僕がリーダーになることがあったときは、参考にしたいと思います。僕は委員になって本当に良かったと思いました。委員のみんなと、どういう学園祭にしたら一番良いかの話し合いに参加できたり、コーナーを受け持ってとても楽しかったです。来年もみんなと協力して、レイモンドの学園祭をすばらしいものになりたいです。



【お知らせ、祈りのリクエスト】

- * 12月15日の終業式をもって、山下光くん(小1)、濱田詩音さん(中1)、山下仁美先生が退園されました。山下家はACEのホームスクールをはじめ、濱田さんは公立中学校に転校されました。それぞれのこれからの歩みのためにお祈りください。
- * ディム先生、グロリア先生のためにお祈りください。先生たちが学校、また日本での生活において、賜物を活かしながらご活躍できますように。また、将来の最善の導きのためにもお祈りください。
- * 3月でイランガン・ジェンくん(高校生)がご両親のミニストリーの都合で退園し、母国フィリピンに帰国する予定です。残りの学園生活が有意義なものとなりますように、また帰国後の進路のためにお祈りください。
- * 鈴木奈美希先生が4月29日にご結婚の予定です。ご準備のために、また、学校の最後のお働きが充実しますようにお祈りください。(今年3月でプレスクールは一時閉園します。)
- * 崎山恵子先生が、長い間頭痛に苦しんでおられます。主が全く癒してくださいますようにお祈りください。(12月より頭痛外来に通っています。)
- * スタッフ一人一人の健康と、そのご家族の祝福のためにお祈りください。
- * 3月11日の終業式のためにお祈りください。
- * 3月21日～25日の5日間、レイモンド学園を会場に第7回スーパーバイザーズ・トレーニングを開催します。準備のためにお祈りください。
- * 4月より谷口みのりさん(新小1)が入学予定です。お祈りください。
- * ACE セミナーにおいて、メキシコの不況によるグアダラハラ校支援の願いをさせていただいたところ、多くの方が応えてくださり、68万円余が献げられました。グアダラハラ校は私たち日本のACEスクールのモデルであり、私たちのために常に祈り、阿部先生を送り出してくださっている「エルサレム教会」です。「異邦人は霊的なことでは、その人々からもらいものをしたのですから、物質的な物をもって彼らに奉仕すべきです。」(ローマ 15:27)
感謝を持ってご報告させていただきますと共に続けてお祈りをお願いいたします。

